

KN グローカルリサーチレポート

2018年10月
No.30



「敬老の日」に発表された総務省の統計によると、9月15日現在の日本の総人口は1億2,642万人で前年に比べ27万人減少した。65歳以上の高齢者の人口は3,557万人で44万人増加し、総人口に占める割合は28.1%となった。

表1は、昨年10月1日の都道府県の年齢別人口の割合である。65歳以上の高齢者の割合が高い県は秋田県や島根県などで、静岡県は全国平均よりわずかに高い。

表2は、今年4月1日の浜松市の区別の65歳以上の高齢者数と、区人口に占める割合である。浜松市ではほぼ4人に1人が65歳以上で、特に天竜区ではほぼ2人に1人が65歳以上となっている。なお、浜松市民の平均年齢は45.86才である。

■表1 年齢別人口の割合 (昨年10月1日現在)

年齢	～14	15～64	65～	(内75～)
全 国	12.3	60.0	27.7	(13.8)
秋田県	10.1	54.3	35.6	(19.3)
高知県	11.3	54.5	34.2	(18.1)
島根県	12.4	54.1	33.6	(18.2)
山口県	11.9	54.7	33.4	(17.2)
山形県	11.8	56.0	32.2	(17.4)
静岡県	12.6	58.3	29.1	(14.5)
大阪府	12.1	60.7	27.2	(13.2)
愛知県	13.4	62.0	24.6	(11.8)
東京都	11.2	65.7	23.0	(11.6)
沖縄県	17.1	61.9	21.0	(10.6)

出典:総務省統計局「人口推計」

■表2 区別・年齢別人口 H30年4月1日現在

	65歳～	区全人口	%	平均年齢
中区	61,544	238,003	25.8%	45.73才
東区	32,743	130,439	25.1%	44.58才
南区	27,410	103,006	26.6%	45.59才
西区	30,049	111,478	26.9%	45.69才
北区	26,898	93,749	28.7%	46.77才
浜北区	25,394	99,034	25.6%	44.51才
天竜区	12,717	29,280	43.4%	55.83才
合計	216,755	804,989	26.9%	45.86才

出典:浜松市「人口統計」(単位:人)



【働く高齢者 過去最多 807万人】

働く高齢者は14年連続で増加しており、807万人と過去最多となった。高齢者の就業率(65歳以上人口に占める就業者の割合)は、男性が31.8%、女性が16.3%となっている。

表3は高齢者の就業先業種である。「卸売業、小売業」が最も多く125万人、「農業、林業」が99万人、「製造業」が92万人、「サービス業(他に分類されない)」が91万人などとなっている。

また、就業者総数に占める高齢者の多い業種は、「農業、林業」49.3%、「不動産、物品賃貸業」24.0%、「サービス業(他に分類されない)」21.2%、「生活関連サービス業、娯楽業」18.4%となっている。一方、高齢者の少ない業種は、「情報通信業」2.3%、「公務」3.1%、「金融・保険」4.8%となっている。

■表3 高齢者の就業先業種

	万人	高齢者%
農林	99	49.3
建設	72	14.5
製造	92	8.7
情報通信	5	2.3
運輸郵便	37	10.9
卸売小売	125	11.6
金融保険	8	4.8
不動産物品賃貸	30	24.0
学術研究専門技術	29	12.6
宿泊飲食	55	14.1
生活関連・娯楽	43	18.4
教育・学習支援	24	7.6
医療福祉	70	8.6
その他サービス	91	21.2
公務	7	3.1

出典:総務省「労働力調査」

高齢者の職業上の地位は、「役員を除く雇用者」が 426 万人(53.1%)、「自営業主・家族従業者」が 271 万人(33.8%)、「役員」が 105 万人(13.1%)となっている。

また、「役員を除く雇用者」の雇用形態は、「パート・アルバイト」(215 万人、50.6%)や、「契約社員」(40 万人、9.4%)などの非正規が約 75%を占めており(「正規」は 109 万人(25.6%))、その主な理由は「自分の都合の良い時間に働きたいから」(男 30.5%、女 37.2%)、「家計の補助・学費等を得たいから」(男 17.5%、女 26.3%)、「専門的な技能等をいかせるから」(男 16.9%、女 8.0%)等となっている。

■表4 高齢者世帯の貯蓄現在高の推移(単位:万円)

	2013	2014	2015	2016	2017
平均	2,377	2,499	2,430	2,394	2,386
中央値	1,519	1,588	1,547	1,484	1,560

出典:総務省「家計調査」

【高齢者の貯蓄】

高齢者一世帯当たり(二人以上の世帯)の貯蓄残高の中央値(貯蓄額の低い世帯から高い世帯へ順番に並べた際にちょうど中央に位置する世帯の値)は 1,560 万円となっている。

【高齢者の消費】

高齢者世帯の1ヶ月の消費支出は約 247,000 円となっている。現役世帯に比べ「教育費」や「被服履物費」、「交通・通信費」が少ないが、「保健医療費」と「交際費」が多くなっている。

これらの高齢者の統計を分析し、今後の高齢化社会での、人々のライフスタイルの予測やビジネス展開などに活用したい。

■表5 消費支出内訳(1ヶ月当たり)

	高齢者世帯	現役世帯
世帯人数	2.45	3.39
世帯主の年齢	73.8	48.6
食料	70,058	75,046
住居	14,853	17,876
光熱水道	21,635	21,457
家事用品	10,273	10,783
被服履物	7,465	13,400
保健医療	14,995	11,225
交通・通信	28,524	48,361
教育	458	19,295
教養娯楽	24,541	30,611
交際	25,315	17,646
その他	29,583	44,752
合計	247,701	310,455

出典:総務省「家計消費状況調査」

【お役立ち セミナー】

○外国人受け入れ政策の大転換と 地域経済・地域社会の影響

- ・日時 平成30年10月22日(月)14:00~16:00 無料
- ・会場 浜松商工会議所会館 10階
- ・主催 公益社団法人 静岡県国際経済振興会(SIBA)



○次世代自動車 要素技術研究講座

- ・日時 平成30年11月6日(火)と11月20日(火)の二日間 5,000円
- ・会場 浜松工業技術支援センター
- ・主催 公益財団法人 静岡県産業振興財団



執筆 = 西川公一郎 : 元浜松市議会議員、防災士
(公社)子どもの発達科学研究所 事務局長

浜松市中区 在住 ko-ichi@24kawa.org